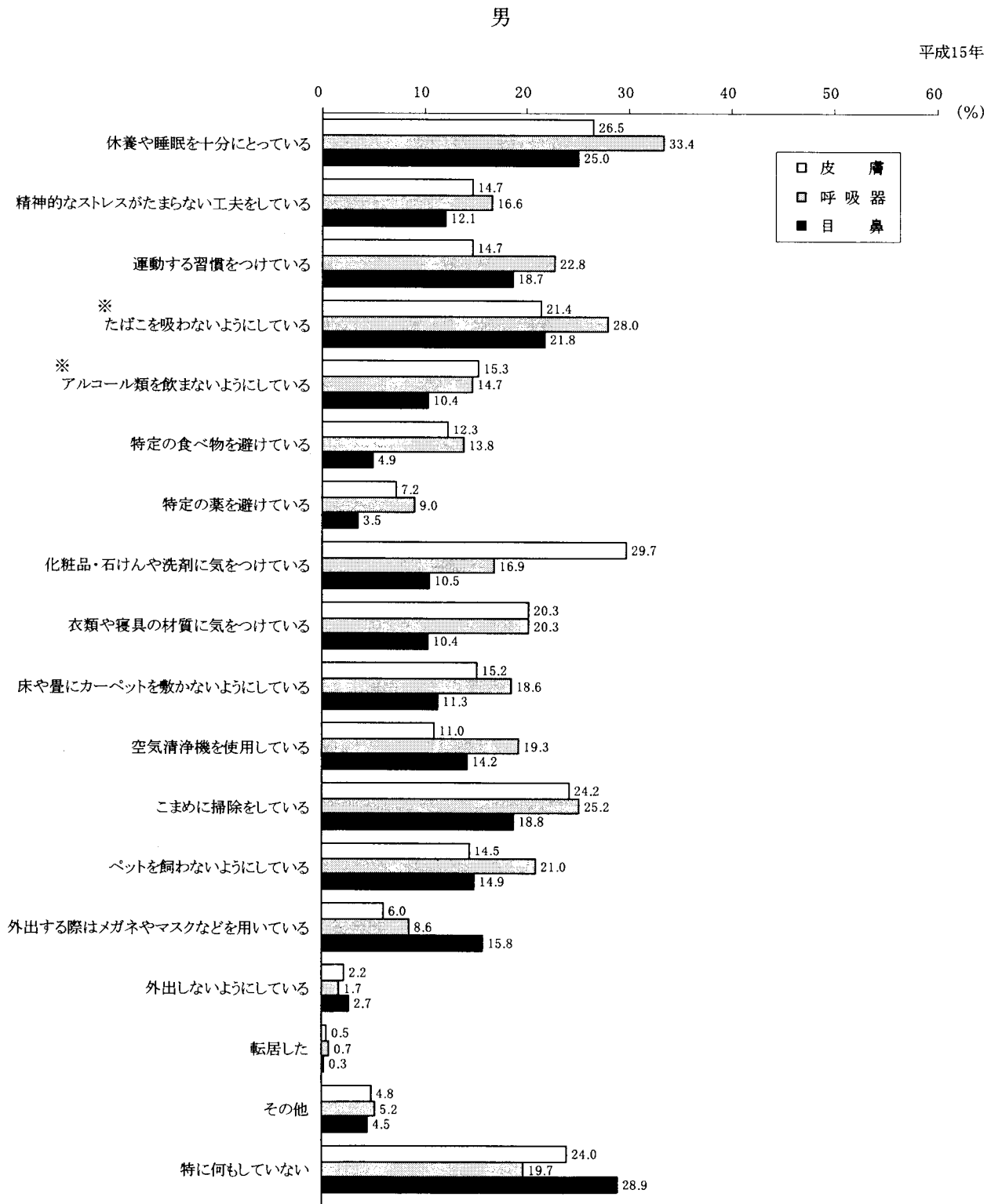


### Ⅲ アレルギーへの対処

#### 1 日ごろ実行している事柄

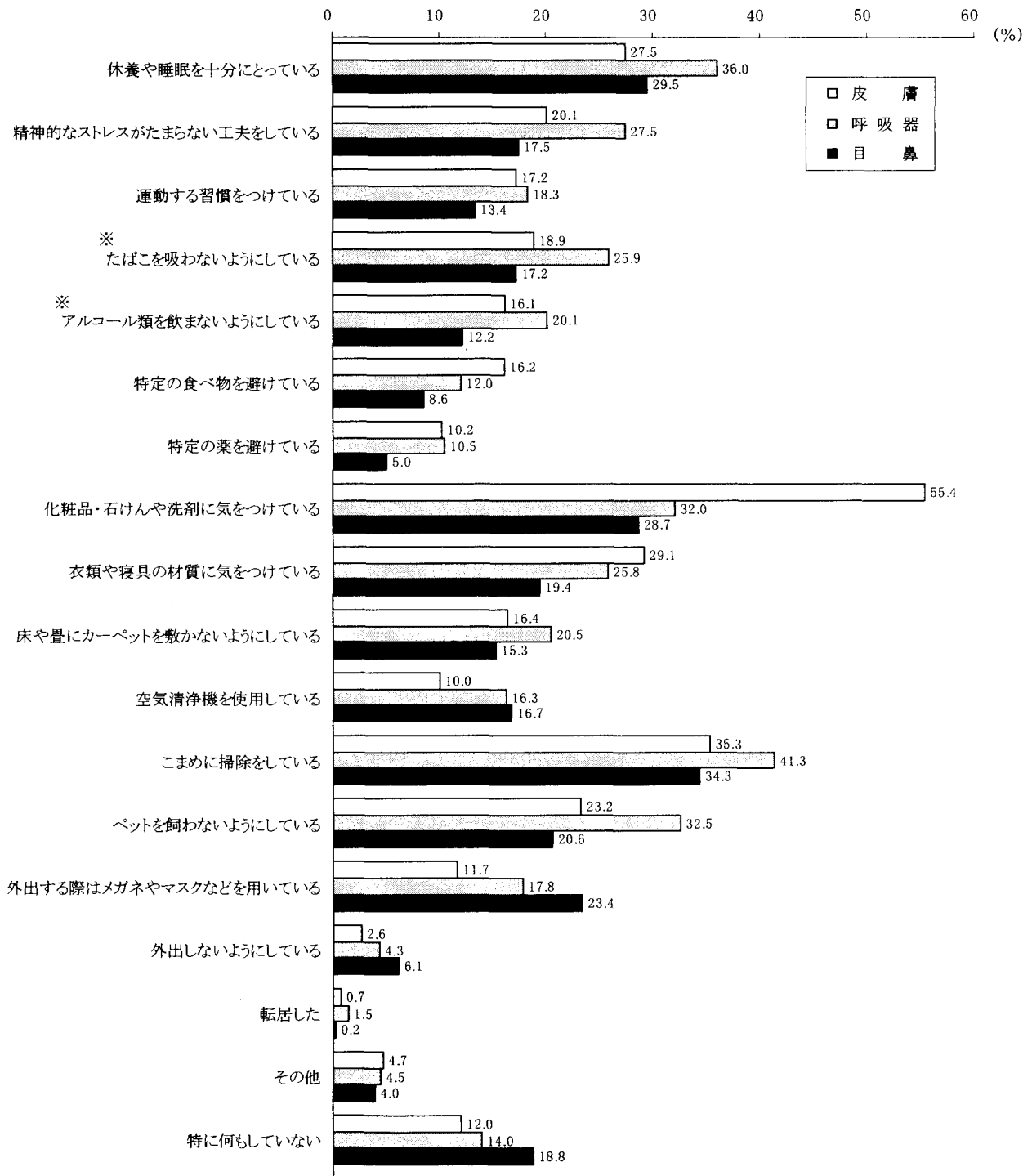
12歳以上の者で、アレルギー診断があった者の日常生活の中でアレルギー性の病気やその予防のために、日ごろ実行している事柄別の状況をみると、皮膚では、男女ともに「化粧品・石けんや洗剤に気をつけている」が最も多く、呼吸器及び目鼻では、男が「休養や睡眠を十分にとっている」、女が「こまめに掃除をしている」が最も多くなっている。(図6)

図6 性・症状別にみたアレルギー診断があった者の日ごろ実行している事柄の割合  
(12歳以上・複数回答 ※「たばこ」及び「アルコール類」は20歳以上の者)



女

平成15年



## 2 アレルギー性疾患対策への要望

12歳以上の者で、今後のアレルギー性疾患対策への要望について、要望があると答えた者は、全体の57.5%となっており、3症状のいずれかのアレルギー様症状があった者では、74.3%とその割合が多くなっている。

また、アレルギー性疾患対策への要望について事柄別の状況をみると、総数では、「医療機関（病院・診療所）にアレルギー専門の医師を配置してほしい」、「アレルギーに対する医薬品の開発に力を入れてほしい」、「アレルギーに関する情報を積極的に提供してほしい」の順となっているが、3症状のいずれかのアレルギー様症状があった者では、「アレルギーに対する医薬品の開発に力を入れてほしい」、「医療機関（病院・診療所）にアレルギー専門の医師を配置してほしい」、「アレルギーに関する情報を積極的に提供してほしい」の順となっている。

なお、1つでもアレルギー診断があった者も同様の結果となっているが、その割合は多い。（表9、図7）

表9 3症状のいずれかのアレルギー様症状の有無とその診断があった者別にみたアレルギー性疾患対策への要望の割合（12歳以上・複数回答）

（単位：％）

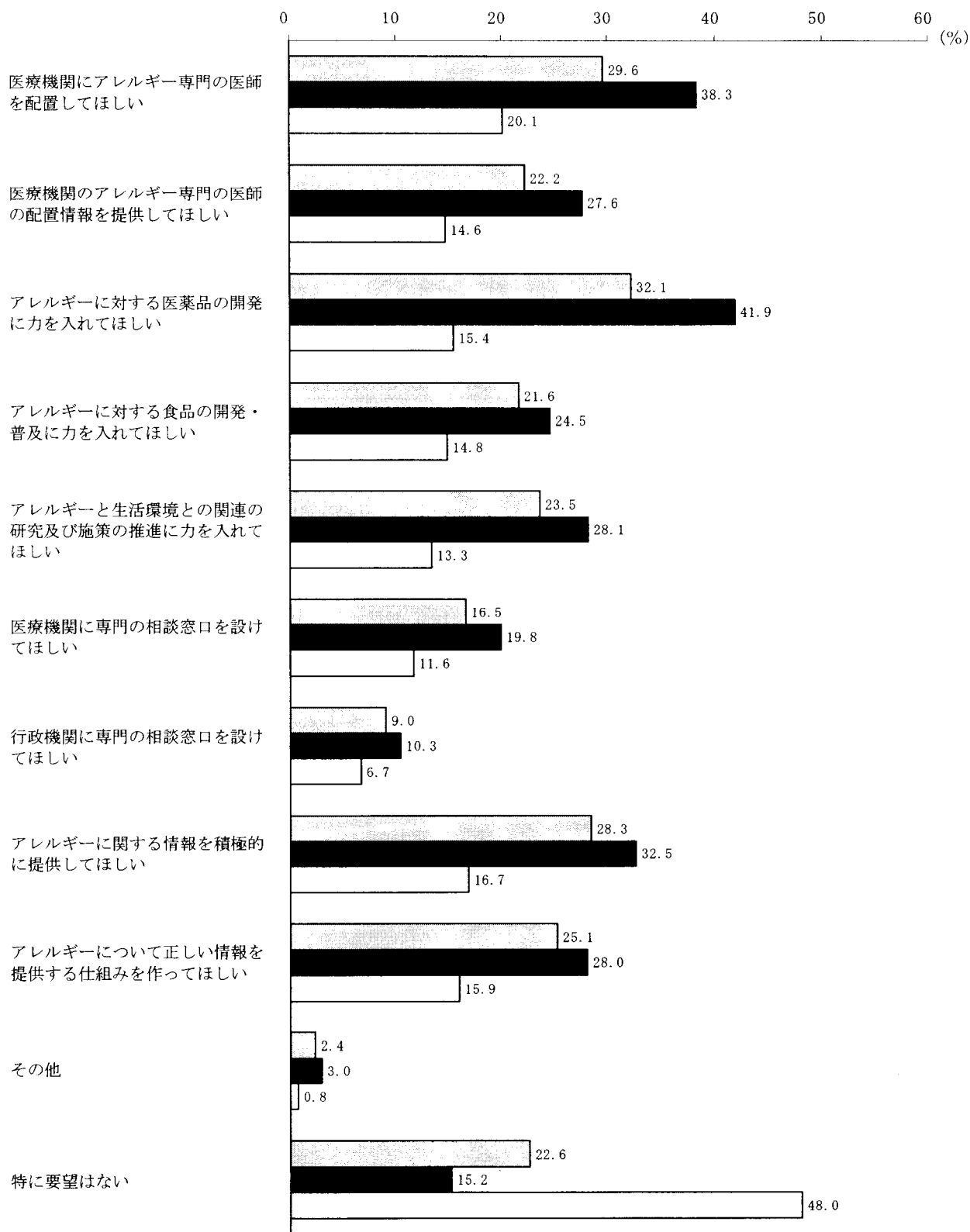
平成15年

アレルギー性疾患対策への要望	総数	3症状のいずれかの症状あり	3症状のいずれかの症状あり		3症状のいずれかの症状もなし
			医療機関に入通院している	1つでもアレルギー診断あり	
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
アレルギー性疾患対策への要望のある者	57.5	74.3	76.9	82.6	49.2
医療機関（病院・診療所）にアレルギー専門の医師を配置してほしい	23.3	29.6	34.5	38.3	20.1
医療機関（病院・診療所）のアレルギー専門の医師の配置情報を提供してほしい	17.2	22.2	25.6	27.6	14.6
アレルギーに対する医薬品の開発に力を入れてほしい	21.1	32.1	35.6	41.9	15.4
アレルギーに対する食品（アレルギーを発症させる物質を除去した食品など）の開発・普及に力を入れてほしい	17.1	21.6	22.7	24.5	14.8
アレルギーと生活環境との関連の研究及び施策の推進に力を入れてほしい	16.7	23.5	24.7	28.1	13.3
医療機関（病院・診療所）に専門の相談窓口を設けてほしい	13.1	16.5	19.2	19.8	11.6
行政機関（保健所等）に専門の相談窓口を設けてほしい	7.4	9.0	10.1	10.3	6.7
アレルギーに関する情報を積極的に提供してほしい	20.5	28.3	28.9	32.5	16.7
アレルギーについて正しい情報を提供する仕組みを作してほしい	18.9	25.1	25.4	28.0	15.9
その他	1.4	2.4	2.6	3.0	0.8
特に要望はない	38.2	22.6	20.0	15.2	48.0

注：総数には、不詳を含む。

図7 3症状のいずれかのアレルギー様症状の有無とその診断があった者別にみたアレルギー性疾患対策への要望の割合（12歳以上・複数回答）

平成15年



□ 3症状のいずれかの症状あり   ■ 1つでもアレルギー診断あり   □ 3症状のいずれの症状もなし